

8-6-2 自主学習システム専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 自主学習システム専門委員会の開催

改訂された自主学習教材の審査については、6月下旬から7月上旬に集中して3回開催した。次年度の改訂方針の検討は12月にメール会議により実施した。

(2) 令和7年度教材について

RCCM資格登録者の研鑽のため、更新登録の要件である自主学習システム教材について、令和7年度版の改訂内容適否等の審査、チェックを行った。

全面改訂なし、部分改訂22教材、改訂なし4教材であった。

教材審査は、法制度、技術基準、維持・管理等の学習内容を重視した。

【全面改訂相当】なし

【部分改訂】

建設一般分野：インフラ DX、i-Construction、BIM/CIMの動向と電子納品

建設一般分野：「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（品確法）とコンサルタントの選定・契約

建設一般分野：建設コンサルタントと著作権

建設一般分野：建設コンサルタントと倫理

専門技術分野：河川、砂防及び海岸・海洋

専門技術分野：港湾及び空港

専門技術分野：電力土木

専門技術分野：道路

専門技術分野：上水道及び工業用水道

専門技術分野：下水道

専門技術分野：農業土木

専門技術分野：造園

専門技術分野：都市計画及び地方計画

専門技術分野：地質

専門技術分野：土質及び基礎

専門技術分野：トンネル

専門技術分野：建設環境

専門技術分野：機械

専門技術分野：水産土木

専門技術分野：電気電子

専門技術分野：廃棄物

専門技術分野：建設情報

【改訂なし】

専門技術分野：鉄道

専門技術分野：森林土木

専門技術分野：鋼構造及びコンクリート

専門技術分野：施工計画、施工設備及び積算

(3) 令和8年度教材について

令和8年2月に、建設一般分野4教材と専門技術分野22教材の作成担当者（協会内の関係委員会、外部機関）に令和8年度版への教材改訂を依頼した。

依頼にあたっては、「RCCM登録技術者は、4年ごとに登録更新講習を受講します。このため、毎年少しずつ改訂していただき、4年間で内容が一新できることが望ましいと思っていますので、積極的な改訂をお願いします。」の文言を明記した。

また、令和6年度受講者アンケートの分析結果を提示し、改訂の参考となるようにした。

2. 次年度の活動について

(1) 継続して、自主学習システム教材の更新・充実に努める。2年以上改訂されていない教材について、改訂なしと回答があった場合は、再要請する。

(2) 自主学習教材の学習内容やレベルについて、技術者資格登録制度における申請、登録、更新結果を受け、法制度、技術基準、維持・管理などについての充実を図る。

(3) さらに、令和7年度の登録更新講習受講者に対して収集している、自主学習システム教材に関するアンケートを分析し、作成担当者に改訂・改善を要請するとともに、建設一般教材の充実について検討を進める。

（自主学習システム専門委員会委員長

松平 圭庸）